

本資料は、サノフィ(フランス・パリ)が2026年6月10日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約・編集し、6月26日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

本資料は、報道関係者を対象としています。医療現場や一般の方々を対象とした医学的な情報提供や、プロモーションが目的のものではありません。なお、これらの資料は配信時当初の情報が掲載されており、最新の情報が反映されているとは限らないことをご了承ください。

報道関係各位

2026年6月26日

サノフィ、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)を対象とした MOBILIZE 第III相臨床試験の最新情報を発表

パリ、2026年6月10日 – サノフィは本日、標準治療では効果が得られない慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)の患者を対象としたriliprubartの第III相臨床試験(試験ID:NCT06290128) MOBILIZE試験 の中止を発表しました。独立データモニタリング委員会が実施した中間解析の結果を受けこの決定に至りました。この中間解析では、MOBILIZE試験で十分な有効性が得られる可能性はきわめて低いと判断されました。中間解析の一環として行われた安全性の検討では、riliprubartに関連する安全性上の懸念は認められませんでした。免疫グロブリン静注療法(IVIg)を受けているCIDP患者を対象とした第III相試験(試験ID:NCT06290141) VITALIZE 試験などの、現在実施中のriliprubartの臨床試験の継続については、適切に評価を行う予定です。

MOBILIZE試験に参加いただきました患者の皆さま、介護者の皆さま、および試験責任医師をはじめとする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

サノフィは、試験責任医師および試験実施施設と連携し、MOBILIZE試験の終了手続きを進め、試験に参加いただいた全ての患者さんが適切な治療に円滑に移行できるよう支援します。今後は、本試験のデータの詳細な解析を進め、今後の研究の方向性を検討するとともに、CIDPの科学的理解の深化に資する知見の獲得に取り組みます。

財務的考慮事項

MOBILIZE試験第III相試験の中止により、多額の費用負担は見込んでいません。2026年度の業績見通しに変更はありません。

Riliprubartについて

Riliprubart(SAR445088, BIVV020)は、IgG4ヒト化モノクローナル抗体製剤で、自然免疫系の古典的補体経路における活性化C1sを選択的に阻害します。C1sを阻害することで、CIDP患者における脱髄や軸索損傷を引き起こす主な炎症経路を阻害する可能性があります。現在、riliprubartは臨床開発段階にあり、その安全性および有効性は、いずれの規制当局でも評価されていません。riliprubart の臨床試験に関する詳細については、www.clinicaltrials.gov をご覧ください。

CIDPについて

CIDP は、四肢の脱力や感覚障害が進行するまれな神経系疾患です。CIDPは、体内の免疫系が末梢神経系の神経細胞を被っている髄鞘(ミエリン鞘)を攻撃することで現れます。適切な治療により長期的な身体障害を予防することができるため、早期診断が重要です。現在、CIDPの治療薬は存在しますが、脱力やしびれ、疲労感などの症状が残ることがあり、慢性的に病状が悪化したり、生活の質が低下したりする患者も少なくありません。

ん。標準治療では効果が得られないCIDP患者は約3割にのぼり、治療効果がみられる患者のうち約7割は十分な改善が得られていません。治療を継続することなく寛解に至る患者は、3割未満とされています*。

*Cocito D., et al. Eur J Neurol. 2010;17(2): 289–294 Mair D., et al. Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry. 2025;96:38–46

サノフィについて

サノフィは、研究開発型の AI を活用したバイオ医薬品企業であり、人々の暮らしをより良くし、力強い成長をもたらすことに尽力しています。免疫科学領域の深い知見を活かし、世界中の何百万人もの人々の治療と予防を行う医薬品やワクチンを提供し、さらなる貢献のために革新的なパイプラインの構築にも注力しています。「人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する」という使命のもと、医療・環境・社会が抱える課題に真摯に向き合い、社員と国や地域社会にとって前向きな変化を生み出すことを目指しています。

サノフィは、ユーロネクスト(EURONEXT: SAN)とナスダック(NASDAQ: SNY)に上場しています。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<https://www.sanofi.co.jp/> をご参照ください。

お問い合わせ先

サノフィ株式会社

e-mail: Communications.SAJ@sanofi.com

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改革法(改正を含む)およびその他の適用される証券法でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の出来事および実績に関する記述が含まれます。期待する、「予想する」、「信じる」、「意図する」、「推定する」、「計画する」、「可能である」、「検討する」、「できるかもしれない」、「～と設計されている」、「ことがある」、「かもしれない」、「可能性はある」、「目的」、「試みる」、「目標とする」、「企画する」、「戦略」、「努力する」、「望む」、「予測する」、「見通し」、「目標」、「指針」、「追求する」、「すべきである」、「するだろう」や「ゴール」などの言葉またはこれらの否定形や類似表現は、今後の見通しに関する記述を特定する目的で用いられています。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する米国食品医薬品局(FDA)や 欧州医薬品庁(EMA)などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性; 製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如; 予測されない規制当局の行動または遅延、または政府の規制全般; 製品候補の承認の可否や時期に関する当局の決定; メディケイドプログラムに「最恵国待遇薬価」で製品を提供するよう求めるなどの米国政府による圧力; 代替治療薬の将来的な承認および商業的成功; サノフィが外部の成長機会を活用し、関連する取引を完了および/または規制当局の承認を取得する能力(当該製品の市販後調査を含む将来の臨床データおよび現在ある臨床データの解析、安全性、品質または製造に関する予測されない問題、競合全般を含む); 知的財産に関連するリスクおよび知的財産に関する現在係争中または将来に生じる訴訟、当該の訴訟の最終結果に付随する不確実性; 為替レートと実勢金利のトレンド、不安定な経済・市場情勢、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、世界的な危機が当社、顧客、サプライヤー、ベンダーその他のビジネスパートナーに及ぼす影響、これらのうちいずれかの財務状況、および当社の従業員、世界経済全体に及ぼす影響があります。またそのようなリスクと不確実性には、サノフィの 2025 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書またはフォーム 6-K による定期報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC およびフランス金融市場庁(AMF) に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。これらのリスク、不確実性および前提条件を踏まえ、本資料に示す将来に関する記述に過度に依拠すべきではありません。

本プレスリリースで言及した商標は、いずれもサノフィグループの商標です。